



学会、研究会では埋め込み式コンセントの使用を禁止しましょう

新潟県立新発田病院リウマチセンター
伊 藤 聡

某学会に参加時、両手に重い荷物を持って会場の椅子と椅子の間の何もない通路を次の会場に小走りで向かっていたところ、突然何かにつまずき前のめりに転倒した。荷物を持っていたため受け身が取れず、顔面から突っ込んだ。激しい顔面挫傷をきたし、脳震盪のために立っていられなかった。しかしその後何とか座長を2つ勤め、飛行機に乗り新潟に帰ってきた。写真1は飛行場で自撮りした写真である。翌日は顔面の皮下出血はさらに激しくなっていた(写真2)。リウマチセンターでレントゲンを撮り、左手母指基節骨の裂離骨折が判明した。写真3はギプスを装着した左手である。めまいとふらつきが続いたが、幸い頭部CTでは異常はなかった。骨片は尺側側副靭帯に牽引され90度回転しており、手の外科研究所病院に入院し手術が必要であった。ちょうど連休中の手術で、日当直の交代ができず、手術の翌日に入院先の手の外科研究所病院からタクシーでリウマチセ

ンターに向かい、そのまま日当直をした。

転倒後、誰かが会場内通路の埋め込み式のコンセント(金属製)を起こして使用し、そのまま立ち去ったのが原因であったことが判明した。学会、学会コンベンション会社には、すぐに会場の埋め込み式コンセントをガムテープなどで封鎖し、使用不可能にするよう依頼し、実行された。来年の学会も同じ会場が予定されており、次期学会長にも埋め込み式コンセントを封印するよう依頼し、同意を得た。今回の転倒は、もしこれが高齢の女性であったならば、腰椎圧迫骨折や大腿骨近位部骨折を起こした可能性もあったのではないかと思われた。この記事を投稿した理由は、今後各学会、研究会を行う場合、学会研究会本部、またコンベンション会社に、会場内の埋め込み式コンセントは非常に危険であり、封鎖し使用を禁止すべきという共通認識を持ってもらい、それが常識であるというように対応を改善してほしいと考えたから



写真1 受傷直後、空港での自撮り



写真2 受傷翌日の顔写真



写真3 左手のギプス

である。その後複数の医師から、埋め込み式コンセントで実際に事故が起きているということをお聞きした。また、ある先生からは、産業医として同じような経験をしたことがあると教えていただいた。しかし、このような、「オピニオン」を掲載してくれる雑誌は少なく、いくつか全国誌に投稿したが掲載を断られてしまった。幸い新潟県医師会報には「オピニオン」のコーナーがあり、今までに何回も掲載していただいている¹⁾⁻⁹⁾。以前本会報に出した带状疱疹ワクチン助成についての「オピニオン」は、なんと那覇市医師会報に掲載された¹⁰⁾。带状疱疹ワクチン助成については、この「オピニオン」と、私の書いた論文¹¹⁾を県内各医師会の医師会長の先生方に郵送し、自治体に交渉をしていただいた。その後各自治体で助成が開始され（一部自治体ではすでに助成が決定していた）¹¹⁾、現在では県内15自治体が助成を行っている。その後2025年4月からは全国で65歳から5歳刻みで定期接種が開始された。埋め込み式コンセントの使用禁止については、まず新潟から声を上げ、全国に浸透するようになってほしいと考えている。

文献

- 1) 伊藤 聡：ジェネリック医薬品について考えました。新潟県医師会報 2018 ; 823 : 15-16.
- 2) 伊藤 聡, 石川 肇：当院でのジェネリック医薬品の選定について -トアラセット®のバトルロワイヤル, T1グランプリとは-。新潟県医師会報 2019 ; 828 : 15-16.
- 3) 伊藤 聡, 西島浩二, 榎本隆之：リウマチ・膠原病患者の妊娠・出産に関するリウマチ医, 産科医の医療連携について(プレコンセプションケアの実現を)。新潟県医師会報 2020 ; 839 : 9-10.
- 4) 伊藤 聡, 石川 肇：ジェネリック医薬品その後の展開と, E1グランプリについて。新潟県医師会報 2020 ; 841 : 14-15.
- 5) 伊藤 聡, 武藤正樹：ジェネリック医薬品その後の展開(その2) -K社製の抗真菌薬に睡眠薬が混入していた事件を中心に-。新潟県医師会報 2021 ; 852 : 13-14.
- 6) 伊藤 聡, 武藤正樹：ジェネリック医薬品その後の展開(その3) -ジェネリック医薬品入手困難な時代に-。新潟県医師会報 2021 ; 859 : 14-15.
- 7) 伊藤 聡, 石川 肇：ジェネリック医薬品その後の展開(その4) -院内, 調剤薬局のジェネリック医薬品の比率を増やせとのことで-。新潟県医師会報 2022 ; 867 : 22-23.
- 8) 伊藤 聡, 石川 肇, 永井英明：带状疱疹ワクチンの公費負担を進めましょう。新潟県医師会報 2023 ; 882 : 14-15.
- 9) 伊藤 聡：続・带状疱疹ワクチンの公費負担を進めましょう。新潟県医師会報 2024 ; 891 : 12-13.
- 10) 伊藤 聡, 石川 肇, 永井英明：带状疱疹ワクチンの公費負担を進めましょう。那覇市医師会報 2023 ; 53 : 74-75.
- 11) Ito S, Sudo M, Takamura S. et al : Safety and influence of the recombinant zoster vaccine on disease activity in Japanese patients with rheumatic diseases. Clin Rheumatol Rel Res 2023 ; 35 : 64-76.